

お茶の水女大家政 ○鈴木 啓子
 柴宮 良恵
 都立八丈高 今成 昭

1. 近年、特に都市で、太りすぎの子供いわゆる肥満児をみかけることが多くなった。私達は被服構成学の立場から、これら肥満児に適した衣服寸法を設定することを目的として、第1報・第2報で肥満児体型の特徴を観察した。今回は、それらの結果に基づき肥満児の衣服寸法の基準設定を試みた。

2. 資料は第1報・第2報で用いたものと同一である。すなわち、工業技術院が昭和41・42年に実施した「既製衣料等の寸法基準及び呼び寸法統一のための日本人体格調査」の統計解析から除外された7才から18才に至る男子合計442名、女子合計540名の肥満児である。身長・袖丈・背丈・スラックス丈・背肩幅・胸囲・胴囲・腰囲・頸付根囲・上腕囲・大腿囲・胴縦囲の12項目を用い、身体の代表項目として、身長・胸囲をとりあげその2項目による他項目の回帰推定により、年令層別に衣服寸法の基準設定を試みた。

3. 肥満児は普通児と比較し、長径項目では差がないが、身体軀幹部の周径項目で大きく優れているため、長径項目に対して周径項目の大きい寸法となっている。身体比例の異なる肥満児に普通児の衣服寸法を利用することは不可能であることを確認した。